

講義名	カウンセリング		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	銅直 優子		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	43110

主題と概要

カウンセリングは、対話を中心に行われる心理的援助を目的とするものであり、病院、カウンセリング機関、企業、学校や福祉機関など様々な領域で用いられている。同時に、カウンセリングで必要とされる応答技法は、心理的援助だけではなく、接客や日常生活におけるコミュニケーションの基礎としても活用可能である。

本講座では、カウンセリングに必要な基本的知識と技法を解説する。また、カウンセリングの実際を学んでいただくために小グループに分かれての簡単な実習を行う。特にどのような姿勢で相談を受け、どのように受け答えをしていけばいいのかについて重点的に学習をしてもらう。

後半では、個人が成長するために集団においてどのようなアプローチを用いることが可能であるか学習してもらう。また、産業現場でのメンタルヘルスの問題について紹介し、どのようなカウンセリング対応がなされているかについて学習してもらう。

到達目標

カウンセリングの現状について理解できるようになる。
 初回面接の仕方について理解できるようになる。
 初回面接の報告書が作成できるようになる。
 カウンセリングの基本的な技法を使って話を聞くことができるようになる。

提出課題

授業内で課題を提出させる場合がある。
 課題内容については、その都度説明する。

評価の基準

授業への参加態度と授業内課題達成度 10～20%
 中間テスト 30%
 定期試験 60%

履修にあたっての注意・助言他

出欠（遅刻も含む）は、毎回取り、出席の基準が満たない者は、単位取得資格を失う。
 他人に迷惑をかけるような行為（私語、携帯電話など）をする者は退室してもらう。
 実習を取り入れるため、積極的態での参加が必要である。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要な資料を適宜配付する
 【参考文献】
 心理学マニュアル 面接法 保坂亨・中沢潤・大野木裕明 編 北大路書房

授業計画

第1回 カウンセリングの基礎知識
 第2回：初回面接の基礎知識
 第3回：初回面接の実際 初回面接における観察視点
 第4回：初回面接の実際 情報収集のスキル
 第5回：初回面接の実際 報告書作成
 第6回：基本的応答技法 クライアントの話を理解する
 第7回：基本的応答技法 開かれた質問と閉ざされた質問
 第8回：基本的応答技法 応答する際のポイント
 第9回：基本的応答技法 感情、内容の反射
 第10回：基本的応答技法 いいかえ、感情の明確化
 第11回：基本的応答技法 基本的応答技法を使用した実習
 第12回：自己成長のための集団アプローチ 集団アプローチの方法
 第13回：自己成長のための集団アプローチ 集団アプローチを使った実際
 第14回：産業現場での諸問題と相談援助活動 産業現場でのメンタルヘルス問題
 第15回：産業現場での諸問題と相談援助活動 産業現場でのカウンセリングの実際

授業計画は受講者の要望と修得状況に応じて変更を加えていく。

予習・復習

予習は、参考文献や授業中に紹介する書籍などを読み、初回面接の意味や方法、カウンセリングの基本的な応答技術について調べておいてほしい。
 復習は授業の中で説明した理論について、紹介する書籍などを参考にしながら理解を深めて欲しい。また授業内で「基本的な応答技法」について実践的に取り組んでもらうが、各自、渡された練習問題を復習として取り組み、確実に応答技法を身につけていくよう心がけること。

備考